

国際委員会・関東地区研究会共催研究会アンケート集計結果

開催日時：2024年6月22日（土）14時00分～16時00分

テーマ：「大学職員の業務に新たな点を取り入れる

～海外の高等教育に関する論稿紹介を通して～」

会場：芝浦工業大学および zoom 開催（ハイブリッド）

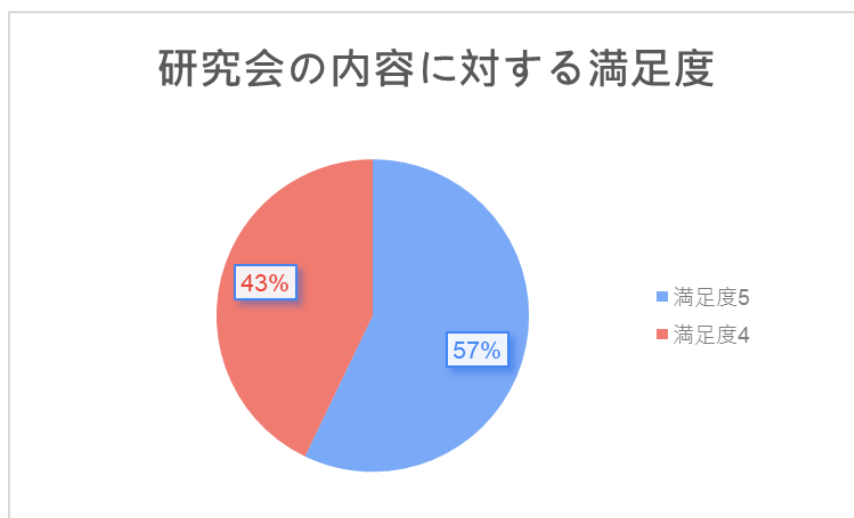


図1 研究会の内容に対する満足度

※満足度は1～5の選択式であり、5が高評価

自由記述：満足度の理由（原文ママ）

【満足度5】

- ・外国の論文を読み込んで紹介した点で大きく評価できる。
- ・皆さんの活動をアウトプットする機会として大変有効でした。質疑や討議の時間がもう少し取れば議論も深まりなお良かったかと思います。
- ・コンパクトにそれぞれの報告がされながらも、各論文の骨子、注目すべき点などが明快に報告いただけたので。
- ・国際系論文からの情報収集という観点で新たな示唆を得ることができたからです。早速、本学の電子ジャーナルにあるか調べてみます。
- ・まず開催できたことが何よりも重要。AHEPの現状の把握と今後の展開についても、一定の可能性が広がったことが良かったです。
- ・業務上関心度の高いテーマであり、かつ参考になる論文を分かりやすく紹介していただくため特に、Nigel M Healey氏の論文は多くの日本の大学の国際化をさらに推進していくためのヒントがありました。

・海外の高等教育という普段関わることのない分野について、そもそもの Perspectives について説明があってそこからの論稿紹介は分かりやすかったです。海外というだけでアレルギー反応を持ってしまうのですが興味を持ちました。

・興味深い内容であったため。

【満足度 4】

・海外の高等教育論稿からの視点で学生参画、国際学習体験等を考える機会となったため。

・意見交換が活発であった。参加者の満足が伺えた。

・オーストラリア等海外大学における高等教育論の動向を紹介される取り組みはとても斬新で刺激的でした。今後のご活躍を期待しております。

・現役の皆さんの奮闘に敬意を表します。

・AHEP のような国外の情報源の活用方法のモデルを示してくれたため。

自由記述：IRRT 活動への期待（原文ママ）

・海外の高等教育に関する論稿紹介とこれを踏まえた日本の大学での活用に関するご提案を期待しております。

・どんどん続けていって今回のようにセミナーに参加した人をインスパイアしてほしい。

・実践が大きな柱である JUAM は、縦軸（歴史）と横軸（他大学・国際）の両方から、自らの現在を考える素材を提供することが大切だと思いますので、引き続きのご活躍を祈念しています。

・ぜひ、研究集会でもご発表ください。

・JUAM の国際化とは何かを探すヒントを投げかけ続けていただければ幸いです。

・新たな海外団体との連携模索と一定の道筋をつけていただくこと

・活動を続けていただき、また論稿発表等で皆さんの発表を聴講できますと幸いです。